

事前申し出制です。鑑賞ご希望の方は、事務局まで下記の事前申し込みをお願いします。

一般社団法人 荏原法人会 主催

品川区後援

荏原に金メダリストがやってくる！！

第32回 税を考える週間イベント

チャリティー映画上映会

『夢を喰う THE WRESTLER』

*注3
裏面に解説あり

※2024年7月劇場公開

「富山英明氏」のドキュメンタリー映画
ロサンゼルス・オリンピック
男子レスリングフリースタイル 57kg 級
金メダリスト

当日はご本人が
舞台挨拶に登壇します！

日時

令和7年11月14日（金）17時30分～19時50分（開場16時30分）

会場

スクエア荏原・ひらつかホール

チャリティーとして、現金500円以上 又は
ビール券 又は 商品券（500円以上）で入場できます。

定員

360名（※事前申し出制 / 座席自由）※チャリティーは全て（公財）ジョイセフへ寄付。

*注2 裏面に解説あり

毎年、11月11日～17日は「税を考える週間」です！！

*注1 裏面に解説あり

（一社）荏原法人会 事務局
FAX. 3788-6800 TEL. 3783-9900
Eメール . hojinkai@ebarar.or.jp

法人会チャリティー映画上映会
入場申込書 兼 チャリティー事前申込書

令和7年 月 日

☐ 法人会のチャリティー映画上映会（11月14日 17：30 於：スクエア荏原）に出席します。

会社名

担当者名

住所

参加者人数（映画出席の方）

名

***注1**



毎年、11月11日～17日は「税を考える週間」です!!

毎年11月11日から11月17日までの1週間を「税を考える週間」とし、この期間を中心に、税の仕組みや役割など税に対する理解を一層深めていただくとともに、税務行政に対する理解や納税意識の高揚を図るため、国税庁、総務省、都道府県や市（区）町村、（税務六団体）が協力して、「税を考える週間」ポスターなどを通じて、広報を行っています。

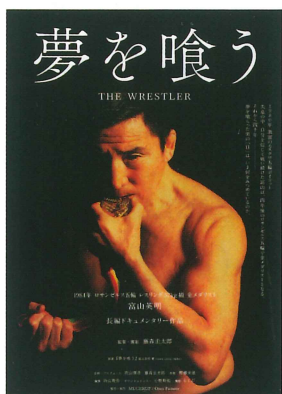
***注2**



日本で誕生したジョイセフは性と生殖に関する健康と権利によって、すべての人が自分らしい生き方を選択できる世界を目指しています。

荏原法人会は32年前から継続的に支援をしています。

***注3**



夢を喰う THE WRESTLER 解説

レスリングは両肩が1秒でもマットにつくと試合が終わる「一瞬」で全てが決まる勝負の世界である。

1984年、ロサンゼルス五輪で金メダリストになったレスラー富山英明は、現役引退後、中学時代から書き溜めた日記をもとに自叙伝『夢を喰う』でその半生を綴った。それは夢を叶えるまでの単なるサクセスストーリーではなく、予期せぬ「まさか」に翻弄されながらも、夢を喰った人間の孤独な問いであった。

それから40年後の『夢を喰う』を描く本作は、2015年に制作が開始され、8年もの制作期間を経て完成した。

アスリートはある時に引退を迎えるが、富山がレスリングを見つめる「目」はずっと変わらない。夢を喰らってしまい、生涯レスラーとして生きる宿命を背負っている目である。

富山は「一瞬」で全てが決まる勝負の世界に身を置きながら、一瞬で決まる「勝負」だけに捉われない。“負けることを許されない宿命を背負った者の苦悩”と、“どんなに望んでも勝てない者の苦悩”を等価に理解する度量が、時に鋭く時にやさしい、喜怒哀楽に溢れた表情に表れている。そんな富山の生き様を見つめてゆくと、ある問いが浮かびあがってくる。

「人は人生に何を求め、何を遺そうとしているのか。」

普遍的ではあるが、一途に問い続けたその先に何が見えてくるのか。

まさに本作は、あれから40年後の孤独な問いを描いている。

【富山英明氏】

1957年茨城県生まれ。中学時代にレスリングと出会い土浦日大高で本格的に始める。大学進学後、1978年から全日本選手権を7連覇し、1978・79年の世界選手権を連覇。

1980年のモスクワ五輪は日本のボイコットにより幻の代表に終わったが、4年後のロサンゼルス五輪ではフリースタイル57kg級で宿願の金メダルを獲得する。引退後、自叙伝『夢を喰う』を発表し、米アイオワ大学へコーチ留学。帰国後は母校日本大学の教員としてレスリング部のコーチ・監督を務める一方、五輪代表コーチ、アテネ五輪・北京五輪の代表監督として日本のメダル獲得に貢献。

2008年国際レスリング連盟殿堂入りを果たす。

2021年10月、福田富昭前会長の後を受けて日本レスリング協会の会長に就任。

(公開時資料より)